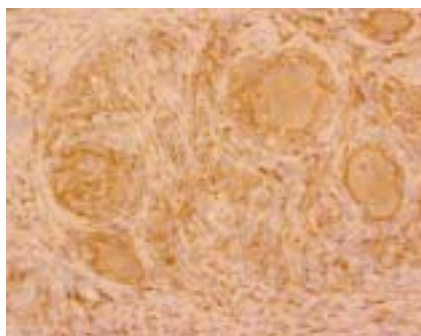


抗 ヒトマクロファージスカベンジャーレセプター A(MSR-A:CD204) モノクローナル抗体 (Clone No. SRA-E5)

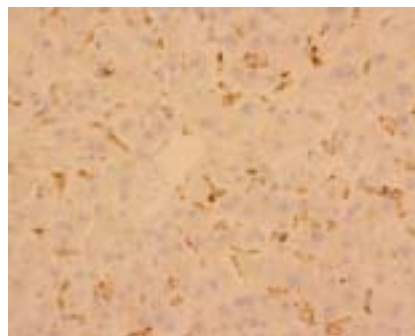
マクロファージスカベンジャーレセプターA(MSR-A:CD204)は、分子量 77kDa のサブユニットのホモ三量体からなる 220-240kDa の膜蛋白で、粥状硬化におけるマクロファージの泡沫細胞化のみならず、生体防御や種々の炎症におけるマクロファージの機能に深く関与していると考えられています。MSR はアセチル LDL (AcLDL)や酸化 LDL (OxLDL)などの修飾 LDL 以外に Advanced glycation end product(AGE)、polyG、polyI 等のポリリボヌクレオチド、細菌の菌体成分である LPS やリボタイコ酸デキストラン硫酸等の多くの陰性荷電巨大分子をリガンドとして認識します。

本抗体は大腸菌で発現したヒト MSR-A タイプ 1 をマウスに免疫して得られた抗体で、免疫染色、ウエスタンブロッティングに使用でき、粥状硬化における MSR の研究をはじめ、種々の病理学的研究に有用です。

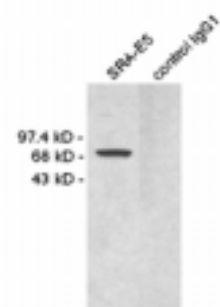
容量	50 μ g (200 μ L/vial)
形状	マウスモノクローナル抗体 0.25mg/mL、凍結品
バッファー	PBS [2%ブロックエース(安定化蛋白)、0.1%proclin 含有]
保管方法	- 20 以下 抗体を低濃度にて冷蔵保管されますと、失活する恐れがあります。 融解後は 4 で保存し、お早めにご使用下さい。 また凍結融解を繰り返すことは避けて下さい。
クローン番号	SRA-E5
サブクラス	IgG1
製造方法	大腸菌で発現したヒト MSR-A タンパクを免疫した MSR-A 欠損マウスの脾臓細胞とマウスミエローマ NS-1 細胞を融合して得たハイブリドーマを BALB/c マウス腹腔内で増殖させ、腹水を採取。採取した腹水より ProteinG アフィニティーカラムにて精製。
使用濃度	免疫染色: 10 μ g/mL ウエスタンブロッティング: 2 μ g/mL 抗原賦活(マイクロウェーブ 10 分, 0.01M クエン酸バッファー, pH2.0)にて、パラフィン切片にも使用可。



皮膚サルコイドーシスのパラフィン切片
肉芽腫を構成する類上皮細胞と多核巨細胞ならびに周囲のマクロファージが陽性所見を示す。



ヒト肝臓のパラフィン切片
クッパ - 細胞に陽性所見を示す。



ウエスタンブロッティング
DTT 還元で、約 72kDa の部位に単一バンドを示す。(sample: lysate of THP-1 cells, a human histiocytic cell line)

提供 竹屋 元裕 教授
熊本大学医学部病理学第二講座

抗 ヒトマクロファージスカベンジャーレセプター A(MSR-A:CD204) モノクローナル抗体 (Clone No. SRA-E5)

【特異性】

器官	反応		器官	反応	
	陽性	陰性		陽性	陰性
心臓	筋内 M (+-)		気管	粘膜 M (+-)	
肺	肺胞 M (+) 肺胞中隔の M (+-)		食道	間質 M (+-)	
肝臓	クッパー細胞(+) 門脈域 M (+)		胃	固有層 M (+) 横紋筋 M (+-)	
腎臓	間質 M (+)		小腸・大腸	固有層 M (+) 横紋筋間 M (+-)	
脾臓	赤脾髄 M (+)	指状嵌入細胞	皮膚	真皮 M (+)	ランゲルハンス細胞
胸腺	小葉間 M (+)		脳 (大脳・小脳)	血管周囲の M (Mato cells)(+)	
リンパ節	洞内 M (+)	TB M 指状嵌入細胞	精巣	間質 M (+)	
膵臓	小葉間 M (+)		子宮	間質 M (+)	
唾液腺	小葉間 M (+)		卵巣	間質 M (+)	
甲状腺	濾胞間 M (+-)		胎盤	ホ-フルウア-細胞(+)	
副甲状腺	小葉間 M (+-)		骨髄	M (+)	骨髄性前駆細胞
副腎	間質 M (+)		血液単球	3日間培養(+)	新鮮分離
膀胱	間質 M (+-)				
前立腺	間質 M (+-)				

M :マクロファージ

(+) :ほとんどの細胞が陽性; (+-) :細胞の約 10-50%が陽性

TB: Tingible body

【参考文献】

1. Takeya M., Tomokiyo R., Jinnouchi K., Sakaguchi H., et al: Macrophage Scavenger Receptors: Structure, Function and Tissue Distribution: Acta Histochem.Cytochem.32(1):47-51,1999
2. 竹屋元裕 高橋潔: マクロファージスカベンジャー受容体と動脈硬化: 組織培養工学 26(5),2000
3. Tomokiyo R., Jinnouchi K., Honda M., Wada Y., Hanada N., Hiraoka T., Suzuki H., Kodama T., Takahashi K., Takeya M.: Production, characterization, and interspecies reactivities of monoclonal antibodies against human class A macrophage scavenger receptors: Atherosclerosis, 2001, in press.
4. Takeya M., Tomokiyo R., Jinnouchi K. Honda M., et al: CD204:Macrophage scavenger receptor, a new differentiation marker for macrophages: part 9 Myeloid Cells, New CD Antigens, Leucocyte Typing , Oxford Univ. Press, 2001, in press.

製造元


株式会社トランスジェニック

〒650-0047 兵庫県神戸市中央区港島南町 7-1-14

TEL: 078-306-0295 FAX:078-306-0296

 URL:<http://www.transgenic.co.jp> techstaff@transgenic.co.jp